

**全国有力100社  
アンケート調査**

**トップは「やや強気」の62% 「強気」は11%、  
強基調が7割超に**

**9月の鉄スクラップ相場動向**

弊紙実施の100社アンケート「9月の相場動向」の結果がまとまった。全体（電炉、商社・シッパー、市中業者、全ての合計）の結果は、「やや強気」が62%でトップとなった。また「強気」は11%あり、両方を合わせた強基調の回答は73%と7割を超えた。「横ばい」は25%。「やや弱気」は2%、さらに「弱気」はゼロと、弱基調の回答は少数にとどまった。

◆業種別～商社・シッパーは「強基調」が82%

業種別集計では、電炉メーカーは「やや強気」が67%、「横ばい」が33%と、この二つに回答が集中した。その他はゼロだった。商社・シッパーは「強気」が18%、「やや強気」が64%、「横ばい」が18%と、強基調の回答が82%を占めた。市中業者は「強気」が11%、「やや強気」が61%、「横ばい」が25%、「やや弱気」が3%、「弱気」はゼロだった。

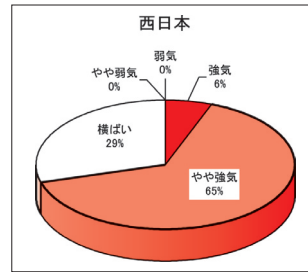
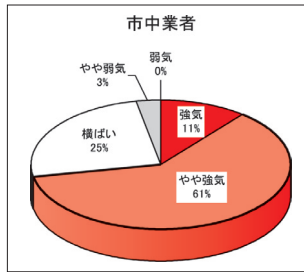
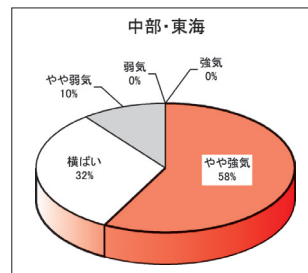
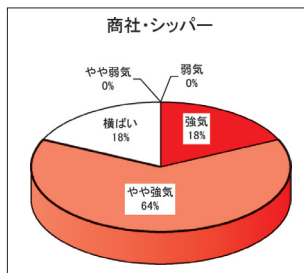
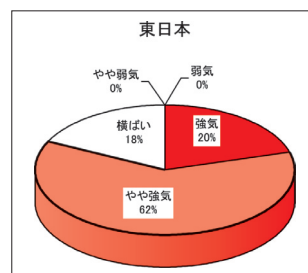
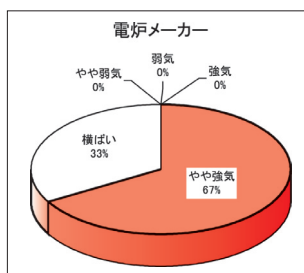
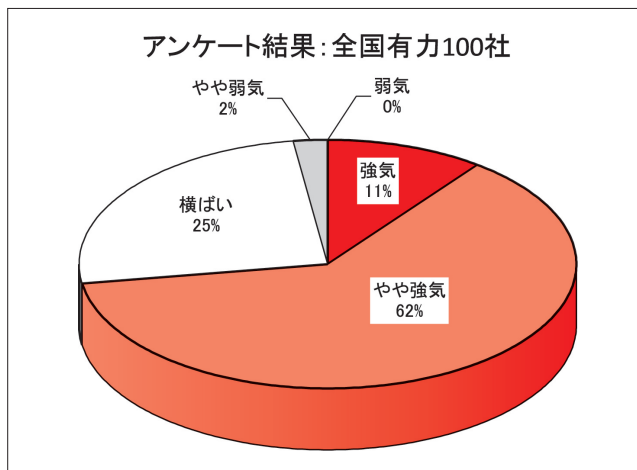
◆地域別～東日本は「強基調」が82%

地域別では、東日本は「強気」が20%、「やや強気」が62%と、この二つを合わせた強基調の回答が82%となった。「横ばい」は18%だった。中部・東海は「やや強気」が58%、「横ばい」が32%、「やや弱気」が10%だった。「強気」と「弱気」はゼロだった。西日本は「強気」が6%、「やや強気」が65%と、強基調の回答が71%となった。「横ばい」は29%、「やや弱気」と「弱気」はゼロだった。

<個別コメント(一部)>

▼国内は炉休も終わり、生産が上昇傾向にある。また、米国も稼働率が高水準で推移しており、値上がりが見込まれる。一方、韓国は原料の在庫水準が高く、あまり大きな上げは期待出来ない。▼スクラップ発生減に伴い、各電炉が原料を確保するために、価格競争が激化するのではないか?▼強気ムードは感じるが、韓国では船混みが生じており商談が滞っているため、確信はまだなく不透明。▼9月月初は発生屑数量が減少している影響や輸出配船増加のため、一旦は強基調となることが想定されるものの、鉄鉱石価格の上伸が困難

なことから、極端な値上げとはならないと想定。▼9月積み関鉄源価格が33.6であり、少なくとも輸出価格が上昇し、湾岸価格も強めになると思われる。



**Innovation for further growth**  
製鋼原料卸・計量証明事業

株式会社 **ミヤザキ・メタルサービス**

MIYAZAKI <http://www.miyazaki-metal.com>

本社 大阪市淀川区三国本町1丁目17-19  
TEL(06)6393-8401(代) FAX(06)6399-0313  
ISO14001認証取得

野中工場 大阪市淀川区野中北通1-1  
TEL(06)6393-8027

三重支店 三重県伊賀市予野4938-120  
TEL(0595)20-1601 FAX(0595)20-1602  
ISO14001認証取得

エコ・リサイクルラボ 三重県伊賀市予野4949-15

【全国有力100社アンケート調査概要】  
 ■回答方法:9月の鉄スクラップについて「強気」「やや強気」「横ばい」「やや弱気」「弱気」から選択回答  
 ■対象:100社(業種別:メーカー12社、商社・シッパー16社、市中業者72社)(地域別:東日本40社、中部・東海20社、西日本40社) ■調査期間:8月25日～9月2日 ■回答率:87.0%(東日本85.0%、中部・東海95.0%、西日本85.0%)